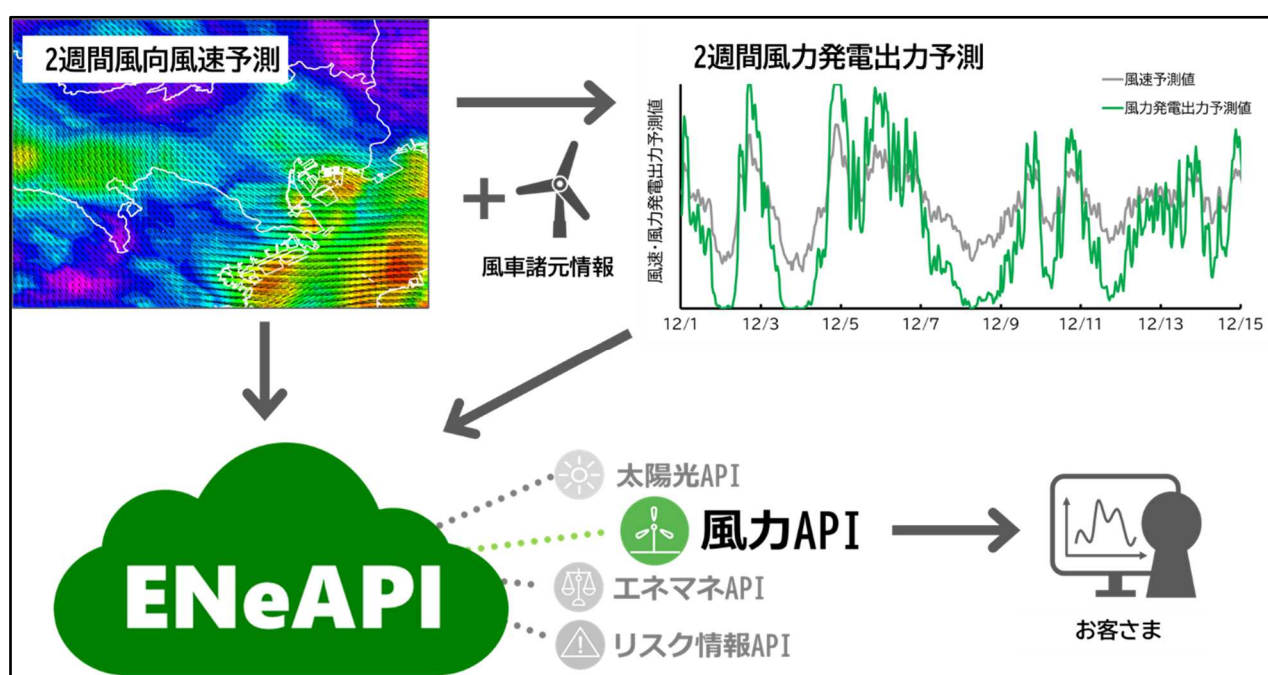


## 日本気象協会、風車ハブ高さに対応した風力 API 「2週間風力発電出力予測 API」を新たに提供開始 ～エネルギー事業者向け API サービス「ENeAPI」がさらに使いやすく～

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:渡邊 一洋、以下「日本気象協会」)は、エネルギー事業者向け API サービス「ENeAPI(エネエーピーアイ)」<sup>(注1)</sup>の新たな風力 API サービスとして、「2週間風力発電出力予測 API」を2025年1月14日(火)に開始します。また同時に、すでに提供している「2週間風向風速予測 API」を、お客さまの要望に応じて改良を行います。今回の改良により、風車ハブ高さに合わせた高精度な予測を利用いただけます。

日本気象協会は、エネルギー事業者向け API サービスとして2020年からデータ提供を行っています。<sup>(注2)</sup>今回、サービスラインナップを強化した風力 API は、風力発電事業者や小売電気事業者などによる電力の需給管理、需給ひっ迫に備えた対応に活用いただけます。「ENeAPI」をさらに使いやすいサービスにするため、日本気象協会は、お客さまからのニーズに合わせた機能の充実と改良を続けていきます。



「2週間風向風速予測 API」・「2週間風力発電出力予測 API」の概要

風力発電の国内導入量は年々増加しており、今後は陸上風力に限らず洋上風力の導入拡大も見込まれています。また、2022年4月にはFIP制度<sup>(注3)</sup>が施行され、ウィンドファームを所有する発電事業者も日々の発電計画の作成・提出が必要となりました。一方で、風力発電は天候や周辺地形に左右される不安定な電源であり、さらに設置した風車の種類によってハブ高さや発電特性などが異なります。そのため、ウィンドファームの風向風速や風力発電出力を高精度に予測するためには、風車のハブ高さや発電効率も考慮する必要があります。



そこで、これまで特定の 3 高度のみの出力に対応していた「2 週間風向風速予測 API」の改良を行い、風車ハブ高さに合わせた任意の高度での風向風速予測が提供できるよう機能を向上しました。地点ごとの風況分布を考慮し、高度 10～200m までの風向風速を高度 0.1m 単位で出力します。

さらに、新たに提供を開始する「2 週間風力発電出力予測 API」では、2 週間風向風速予測の出力結果と風車諸元情報を組み合わせ、風車ハブ高さや発電特性を踏まえた風力発電出力予測値を出力します。これにより、風力発電事業者や小売電気事業者などによる電力の需給管理や、需給ひっ迫に備えた対応などに活用いただけます。

#### ◆サービスの提供仕様

API カテゴリ	API 名	高度	予測時間	時間粒度	空間解像度
風力 API	2 週間風力発電出力予測 API	10～200m で指定可能	最大 345 時間	30 分	1km
	2 週間風向風速予測 API	10～200m で指定可能	最大 345 時間	30 分	1km

※その他 API(太陽光 API、エネマネ API、リスク情報 API など)に関しては「ENeAPI」のサービス紹介ページ

(<https://www.jwa.or.jp/service/energy-management/solar-power-06/>)をご参照ください。

※本サービスは、ご契約より最短 10 営業日ご利用いただけます。

日本気象協会では、本サービスのほか、風力発電事業者や小売電気事業者向けに風力発電出力予測サービス「SYNFOS-wind(シンフォス ウインド)」<sup>(注 4)</sup>を提供しています。「SYNFOS-wind」は、対象地点に特化した予測式設定や、API 以外の提供方法にも対応しており、お客さまごとのカスタマイズに柔軟に対応することができます。

#### ◆サービスの利用用途

- ・風力発電所(陸上・洋上)を対象とした発電販売計画の作成支援
- ・最大 2 週間先までを対象とした需給管理や電力取引などに関わる計画作成支援  
(「翌日計画」「翌々日計画」の作成にも活用可能)
- ・電力市場にインパクトを与える需給ひっ迫リスクを早期把握するための基礎情報

#### ◆サービス開始日

2025 年 1 月 14 日(火)

#### ◆サービスに関するお問い合わせ(法人向け)

日本気象協会 環境・エネルギー事業部 営業課

Mail: ke-eigyo\_kankyo@jwa.or.jp

\*報道関係の方は日本気象協会 広報室までお問い合わせください。

\*「ENeAPI」は日本気象協会の登録商標(登録第 6574904 号)です。

(注 1): エネルギー事業者向け API サービス「ENeAPI」

<https://www.jwa.or.jp/service/energy-management/solar-power-06/>

(注 2): 日射量・太陽光発電出力予測 API を提供開始～任意地点の予測情報を API で容易に取得可能に～  
(2020/08/06 日本気象協会ニュースリリース)

<https://www.jwa.or.jp/news/2020/08/10704/>



(注 3) : FIP 制度

「フィード・イン・プレミアム」のことで、再生可能エネルギーにより発電した電力を発電事業者自らが電力市場で売電することを原則としている。その売電の際、変動する市場価格にプレミアム(上乗せ価格)をつける制度を指す。

(注 4) : 風力発電出力予測サービス「SYNFOS-wind」

<https://www.jwa.or.jp/service/energy-management/wind-power-02/>

以上